

エクストリームシリーズ2012 奥大井大会

奥大井大会 優勝チームコメント

チーム・コナ・ウィン 鈴木 真樹子 さん

エクストリーム奥大井大会。最終戦にしてかなりの強豪チームが参戦するとの情報が7月あたりから私の耳に入ってきました。

いつも一緒に上位を争っているとれいるざんまい、一昨年過から去3年（だっけ？）シリーズ戦を連覇していたKIWAMI（今シーズンは奥大井が初レース）。6年ぶりの復活の男山。メキメキ女性陣が力をつけているちゃりんこちゅりー（2チーム）。そして何と言っても今回の最大の注目はトレラン界の女王ことM瀬ちがやさんの美獣と野獣チーム。どのチームが勝ってもおかしくない強敵チームばかり。

そして、私たちコナ・ウィン。

今シーズンは毎年シリーズ戦のトップ争いをしている強豪チームが全戦参加してないことや、6月の尾瀬松枝岐大会で今シーズン最大の目標にしていた総合優勝を果たせた事で、私たちコナ・ウィンの年間シリーズ優勝が奥大井戦前にほぼ確定していました。という事から、奥大井戦は遊び心を出して、コナ・ウィンを分裂させて出場しようと話しが決めたのでした。

- ・チーム・コナ・ウィン ⇒ 隊長（道向さん）、ごーし、ワタシ。
- ・チーム・義理・ウィン ⇒ 鈴木みさん、たきざん亭、ごーし義理の妹さん
（当初は道向さんの義理のお兄様が出る予定だったので、このチーム名したのです）

レースは40チーム以上のチームが集まり、いつも通り10時にスタート。

第一セッション チームチャレンジ。

全員が紙エプロンをし、河川敷の石がゴロゴロしているところを数百メートル先にあるチームNoと同じ番号が書いてあるボールを拾ってくるというもの。因みにボールがおいてある数百メートル間には水鉄砲を持ったスタッフがいて、紙エプロンに当たったらペナルティになるというルール。

ここはすんなりとはいかなかったもの、なんなくクリア。

第二セッション MTB。

チームチャレンジを真ん中よりちょっと後ろ気味に終え、MTBをスタート。とれいるざんまい、KIWAMIはとっとと終わらせたく5分以上私たちより先行した模様。この差はちょっとばかり痛い。。。美獣と野獣とはほぼ同時にチームチャレンジを終え、MTBはほぼ一緒にスタート。

このMTBセッションはとにかく長い！長い！しかも割と斜度のある林道の上りが永遠と続くコース。毎回の事ながら道向さんの牽引のおかげで、美女と野獣と抜きつ抜かれつとほぼ並走。早く後ろか前が見えないところにどっか行つてーと思いつつ、CP8にはほぼ一緒に到着。このMTBは本当に長くてキツイセッションでした。

この時点で3位、美獣と野獣。4位、コナ・ウィン。

第三セッション トレッキング。

暑さと長い上りのせいかなんとなく頭痛と気持ち悪さが……。熱中症の症候かなあと思いつつ地図を見ると600メートルくらいアップしてきたのに、さらにこれから大札山の山頂まで300メートルものアップ！

ひえ～。熱中症なんてなってられない！と思い、自分に大丈夫と言い聞かせ、何も考えないように山頂目指してひたすら上っていく。

トレッキングもほぼ同時にスタートした美獣と野獣チームのT沢さん。今回のレース、私に宣戦布告をしてきた方です（笑）。元々肉離れを起こしていたのですが、チームチャレンジでさらに悪化させてしまったらしく、遅れ始めてました。引きずるように上っていて見るだけで何とも痛々しい。。。完走自体大丈夫なのかな？と心配になりつつも先を急がせて頂きました（T沢さん、本当に心配でしたよー）

山頂近くで1位のとれいるざんまい、2位KIWAMIとすれ違い、少しずつ差が縮まっている事を感じる。CP10（大札山山頂）では7～8分の差になっていた。ただ、私たちが下り始めて間もなくして、男山とすれ違い、このチームも少しずつ追い上げてきている事を知り、少し焦りを感じ始めたのでした。

山頂からのダウンヒルは楽しかった！最後の2キロ強の林道は辛かったけど、ここが勝負どころ！とごーしの激が飛び、

走り続けこのトレッキングを終了。CP12の時点でコナ・ウィン3位。

第四セクション MTB。

もう辛い上りはない！下り基調！俄然、元気が出てきます。途中の適度なガレ場のシングルトラックは最高～。山を下りてカヌーセクションに向かうと、なんとKIWAMIが自販機前でドリンク購入中。水切れをおこしたらしいです。やったあ！やっと追いついた！

カヌーは距離も短かったのであっという間に終わらせ、このレースで始めてKIWAMIより先行します。舗装路に出た途端、逆方向から何故かとれいるざんまいが現れます。あれ？？？川を渡ろうとしたらしいのですが、深いからやめて下さいと言われて戻ってきたらしいです。（でも、チーム・ギリ・ウィンは川を渡って溺れかけた？らしいです）ここでとれいるざんまいとの差が縮まります。さして最後のCP16（敬満大井神社）

私たちは神社に行く入り口を見落としてしまい、ちょっと遠回りして吊り橋を渡って戻るようにしてCP16の神社まで行ったのに対し、入り口を見落とさずすんなり神社に向かったKIWAMIにまたしても先行されてしまいます。個人的？にはかなりショック。CP16からゴールまではさほど距離もないので結局3位かなあと思いつつCP16を取りゴールを目指す。

この時点で1位とれいるざんまい、2位KIWAMI、3位コナ・ウィン。その差は5分以内。

ただ、ここからの3チームのルート選択が面白かった！とれいるざんまいは距離は短いけど上り基調のコース。KIWAMI、コナ・ウィンは来た道に戻るするようにゴールへ向かったのですが、入り口を通りすぎて戻るようにしてCP16まで行った分、同じ道に戻った私たちがアップダウンの少ない最短ルートだったようで・・・。

ゴールまでの2キロ強、最後まで諦めない気持ちはあったものの、3位かなあという気持ちも絶対に3人ともあったはず。でも、最後までスピードは落とさず、道向さん、ごーしが私を引っ張り、さらにごーしは「回せ～回せ～」ってずっと叫んでるし（笑）。私も最後まで必死にペダルを回し続けたのでした。

ゴールのキャンプ場手前の橋を渡ると下にゴールテープが見えるのだが、とれいるざんまい、KIWAMIの姿が見当たらない。ここからは見えないところにいるのかなあと思いつつ、コナ・ウィン無事ゴール。

ゴールしてもとれいるざんまい、KIWAMIの姿はなく、先に駐車場に戻ったのかなあ（そんな早く戻る訳ない。。）とばかな事を思っていたら、、なんと1位でゴールした事を告げられ3人で抱き合って喜ぶ。嬉しいとびっくりとで大興奮！！

そしてその1分後くらいにKIWAMIが2位でゴール。そのまた1分後くらいにとれいるざんまいが3位でゴール。

3チームみんながこの大どんでん返しの結果にびっくりでした。驚きながらも3チーム9人がお互いの健闘をたたえあって1人1人と握手。このゴール後の握手は何回してもいいものです。

そして4位には肉離れを悪化させつつ、順位も下げずに美獣と野獣がゴール。完走も危ういのでは？思っていたので、この順位は素晴らしい！さすがドリームチーム。素晴らしいです。

ゴール後の宴会はもちろん大盛り上がり。（シャンパンかけられた～）

翌日、頭が痛く、だるさが残ったまま岐路についたのは言うまでもありません。。

最後にこの1年チーム・コナ・ウィンの成績

- 那珂川大会 総合2位（ミックス2位）
- 奥多摩大会 総合3位（ミックス1位）
- 尾瀬桧枝岐大会 総合優勝
- 奥大井大会 総合優勝

年間シリーズ戦も私たちコナ・ウィンが優勝し、堂々の成績で11月の四国大会のチケットをゲットさせて頂きました。四国戦、もちろん行かせて頂きます。

我部さん、スタッフをしてくださった皆さま、一緒に戦ってきた選手の皆さま、そして今年も1年、一緒に組んで楽しいレースをしてくれた道向さん、鈴木みさん、最後に一緒に出てくれたごーし、本当にありがとうございました。

来シーズンも頑張るかな？！やっぱりアドベンチャーは何度出ても最高！！